
道化師

トウクロウ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

道化師

【Nコード】

N1211BA

【作者名】

トウクロウ

【あらすじ】

数年前の事件、“彼女”に執着する犯人、元殺人鬼の店員、殺人マニアの義姉。この街は、何かが狂っていた。

昔に書いていた小説です。更新は気ままにやるので、どうかご理解したうえで読み下さい。急に更新は止まるかもしれません。R15は念のためです。

プロローグ ある日の午後（前書き）

推理に挑戦した昔の自分を、思いっきり殴ってやりたい。

ほぼノープランなので、更新は不定期です。

プロローグ ある日の午後

一体、ボクの人生には意味があったのだろうか？

そんなことを、ボクは両親の前で考えていた。まあ、両親と言ってもすでに絶命しているのだが。

「たぶん死んでるんじゃないかなー」とは思うけど、どうだろうか？確かに両手両足が千切れていても人は死なない、かな？たぶん、でも、この状態で2時間も放置していたらさすがに死ぬと思うんだ。っていうか、生きているほうが驚きじゃない？

ボクは壁に張り付いている父親を見上げた。その口からは切れかけている舌が見えており、歯という歯は一切見当たらない。いや、欠片程度ならあるか。胴体には先端の尖った鉄パイプが無数に刺さっており、そのおかげで支えられていると分かる。

次に、絨毯に転がっている母親を見下ろした。頭の半分は潰れており、腹部からは細長い腸がはみ出ている。顔は恐怖と苦痛で歪んでいた。なんとなく、人間の本性が見え隠れしている死体だ。

最後に、兄の方に視線を移した。兄は両親と違って、手足は付いている。体から独立しているのは、首から上だけだ。いや、この場合、独立しているのは体なのだろうか？心臓を源と見るか、脳を源と見るかで論議が起きそうな題材だ。何か、某小説にこういう表現があった気がする。

そんなことは、さて置き。

兄の頭はテーブルの上に飾ってある。両目の瞼と唇はホツチキスで止めてあり、耳は両方とも削ぎ落とした。鼻の上に包丁で穴を開け、髪の毛は頭皮と共に剥いである。

うん、やっぱり兄が一番バランスがとれている。元々、顔は良かったおかげだろうか？それとも、ボクの殺し方がいいのか。いやいや、ボクはまだ駆け出した。調子に乗るのは良くないな、うん。

そういえば、妹はどうしたんだろう？殺した覚えがないから、まだ生きているんだろうけど。でも、どっちでも良いか。妹は最初から殺す気はなかったし、ここに居ない方が都合がいい。だって、今誰かに会うと

殺してしまいそうだから。

妹にはまだ生きていて欲しいからね。彼女はきっと美人になって、人生を謳歌するだろうから。

さて、とりあえず。この返り血をどうにかしよう。

遠くから近付いてくるサイレンの音を聞きながら、ボクは、自分の体に包丁を突き立てた。

プロローグ ある日の午後（後書き）

感想・誤字の指摘など待っています。

推理モノになるかどうか不安です。もしかしたら、途中でかわるかも……。

それでも良いと思う人は、次回もよろしく願います。
嫌だと思う人は、申し訳ございません。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1211ba/>

道化師

2012年1月2日23時52分発行